

岡山・鳥取両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備に向けた共同アピール

地域主権の実現に向けて、各地域が自立的に発展していくためには、産業振興や観光振興における広域的な連携や交流による、持続可能な地域基盤の創造が不可欠である。

岡山・鳥取両県においても、岡山県で来年度開催される「美作国建国 1300 年記念事業」や鳥取県で本年度開催される「第 13 回国際マンガサミット」を契機とした広域交流の活性化、さらには東アジアとの交流拡大による国際的競争力の強化を図るために、交通・物流の基盤となる高規格幹線道路、地域高規格道路の整備は喫緊の課題である。

また、昨年の中日本大震災や紀伊半島大水害を通じて、高速道路をはじめとする広域的な幹線道路ネットワークの『命の道』としての重要性が改めて認識されたところであり、今後の大規模災害や緊急医療活動における両県の安全・安心を確保するためには、こうした教訓を活かした高速道路ネットワーク等の整備による災害に強い国土基盤の構築が必須である。

ついては、岡山・鳥取両県として、次の事項について、強く要望する。

1 岡山・鳥取両県を結ぶ高速道路ネットワークの整備を国家戦略として最優先で早期に完成すること。

(1) 中国横断自動車道「姫路鳥取線」の整備促進

西粟倉 IC～大原 IC 間を平成 24 年度早期に完成させること。

(2) 中国横断自動車道「岡山米子線」の全線 4 車線化

安全性と定時性の確保や、災害時の緊急輸送道路としての機能強化を図るためにも、残る暫定 2 車線区間について、早期に 4 車線化に着手すること。

(3) 地域高規格道路「北条湯原道路」の整備促進

「倉吉道路」、「倉吉関金道路」及び「初和下長田道路」の整備促進に必要な予算を確保すること。

2 地方が必要な道路を計画的に整備するための社会資本整備総合交付金及び地域自主戦略交付金等の予算総額を安定的に確保すること。

平成 24 年 5 月 16 日

岡山県知事 石 井 正 弘

鳥取県知事 平 井 伸 治